

平成28年度教育研究活動報告書

氏名	有吉 勇介	所属	経済情報学部
学位	博士(工学)	職位	教授
専門分野	情報工学		
I 教育活動			
本年度担当科目			
	授業科目		
学部	基礎演習Ⅰ 情報システム設計論 情報システム設計実習 プログラミングⅠ プログラミングⅠ実習 情報基礎理論 情報とコンピュータ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ		
II 研究活動			
これまでの主な研究業績(5件まで)			
〈著書〉 〈展覧会〉 〈論文〉 〈翻訳〉 〈学会発表〉 〈学術表彰〉 〈その他〉			
(1) 〈国際会議〉 Yusuke Ariyoshi, Junzo Kamahara, Naoki Tanaka, Katsutoshi Hirayama, Takashi Nagamatsu, Yuuichi Teranishi, "Location-dependent Content-based Image Retrieval System Based on a P2P Mobile Agent Framework", 2013 IEEE International Conference on Pervasive Computing and Communications Workshops, p72-77, March 2013.			
(2) 〈国際会議〉 Yusuke Ariyoshi and Junzo Kamahara, "A Hybrid Recommendation Method with Double SVD Reduction", Lecture Notes in Computer Science, Volume 6193, Database Systems for Advanced Applications, pp.365-373, September 2010.			
(3) 〈論文〉 宮本崇弘, 竹内亨, 奥田剛, 春本要, 有吉勇介, 下條真司, 「Grip: プライバシとサービス品質のトレードオフを考慮した個人情報制御機構」、日本データベース学会 Letters Vol.4, No.1, pp.145-148, 2005年6月			
(4) 〈国際会議〉 Yusuke Ariyoshi, "Improvement of Combination Information Filtering Method Based on Reliabilities", MLIF at IJCAI'99, pp.1-5, Aug. 1999.			
(5) 〈論文〉 有吉勇介, 下條真司, 宮原秀夫: "ハイパーテキスト楽譜のための楽曲構造モデルと視覚化機構", 電子情報通信学会論文誌D-II, Vol.J81, No.9, pp.1937-1948, 1998.9.			
本年度を含む過去3年間の研究業績			
〈著書〉 〈展覧会〉 〈論文〉 〈翻訳〉 〈学会発表〉 〈学術表彰〉 〈その他〉			
(1) 〈口頭発表〉 「コモディティ市場における企業行動と戦略-シミュレーション分析によるアプローチ-」、小川長、本田治、有吉勇介、日本情報経営学会第72回全国大会, 2016年5月.			
(2) 〈口頭発表〉 「バスケット分析を用いたレシピ提案」、中西愛花、増田郁人、有吉勇介、経営科学系研究部会連合協議会 平成27年度データ解析コンペティション関西予選最終報告会, 2016年3月.			
(3) 〈口頭発表〉 「『コモディティ化市場における差別化と同質化』研究の再検討」、有吉勇介、本田治、小川長、日本情報経営学会関西支部 第239回例会, 2015年9月.			
現在の研究テーマ(3つまで)			
(1) データ工学・データ解析			
(2) 情報処理教育			
学会、所属団体における活動 (本年度を含む過去3年間の研究業績)			
所属学会・所属団体 役職等			
IEEE, 電子情報通信学会(査読委員), 情報処理学会, 日本データベース学会, 日本情報経営学会, 日本教育システム情報学会			
IV 社会活動			
1. 学外活動(本年度1年間の活動状況)			
(1) 情報処理研究センター主催の公開講演会「みんなでつくる『まちの事典』~ウィキペディア・タウン in 尾道」(講師 海瀬氏)の企画および司会			
2. 委員会及び協議会委員(本年度1年間の活動状況)			
	委員会等の名称		
(1) 尾道市関係	地域公共交通会議委員		